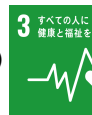


そりあそび・ゆきあそび

★(巻末に指導案あり)



1 活動のねらい

冬の自然と直接触れ合いながら、雪面をすべるスピードやスリル感を味わい、寒さに負けず楽しく遊びます。

2 活動の概要

そりすべり場でそりやスノーチューブを使って、そりあそびを楽しみます。
また、冒険の森周辺での雪像づくりや雪原でのスノーシュー体験も楽しむことができます。

3 人数・時間・場所

- (1) **人数** 各コースそれぞれ50名程度まで
- (2) **対象** 年齢は問いません。
- (3) **期間** 1月～2月
- (4) **時間** 1～2時間
- (5) **場所** そりすべり場（Aコース奥・Bコース曲り家側）
- (6) **料金** 1人 300円



4 準備する物

区 分	内 容
団体	・防寒着 ・帽子 ・手袋 ・タオル ・水分
交流の家	・そり約 100 台 ・スノーチューブ約 20 台 ・カラーコーン（目印用） ※希望に応じて「雪遊びセット（ミニスコップ、バケツ等）」やスノーシューを無料で貸出します。



5 引率者の役割

係 名	人 数	役 割
代表責任者	1 名	・全体の総括、指揮、安全管理、連絡 ・そりの受取、返却 ・そりすべり場までの誘導
スタート・ゴール係	2～4名	・スタートとゴール地点での安全な乗り方と事故防止の呼びかけ

6 交流の家職員の役割

- ・ 物品の貸し出しを行います。
- ・ そりすべり場まで引率、安全な滑り方について、全体説明を行います。

7 料金の支払いについて

活動終了後に請求書を発行します。支払いについては、利用の手引き6ページを参照してください。

8 活動の流れ

活動の流れ	内 容
物品借用 説明	・ そり、スノーチューブ等の借用 ・ すべり方、安全管理等について全体説明（交流の家）、団体代表者による試走
活動	・ スタート地点とゴール地点での安全指導
活動終了	・ 借用物品の収納、曲り家内雪払い、終了報告

9 実施及び安全管理上の留意点

- (1) 引率者が活動前に必ず試走を行い、けが防止のため、活動中は帽子・手袋を着用させてください。
- (2) コース内・そりすべり場周辺には、雪だるまやジャンプ台などを作らないでください。
- (3) 落雪にご注意ください。また、曲り家付近の池（表示有り）には、近寄らないでください。
- (4) 大雨（5mm/h）、大雪（20cm/12h）、風雪（11m/s以上）のいずれかに該当する場合は、荒天時プログラムへ変更をお願いします。

10 エリアマップ

